

第3回飼い主のいない猫等の不妊去勢手術推進協議会 抄録

日 時：令和5年12月5日(火) 13時～

場 所：家庭動物啓発センター

出席者 一般社団法人ねこ99福岡
一般社団法人 福岡市獣医師会
ライフリレー博多ねこ
[sakuraneko]
福岡市動物愛護管理センター 吉柳 善弘、三坂 征嗣、
有澤 和江
福岡市生活衛生課 藤沢 大、廣田 淳一、
小杉 岳童

1 報 告

不妊去勢手術支援の進捗状況について【資料1】

- ・猫が捕獲できず予約がキャンセルになった場合、病院と申請者間でトラブルが起きることも想定されるが、そういった問題はなかったか。
→事務局に動物病院からの相談は来ていない。
- ・施術病院に偏りが生じれば、一部の病院が疲弊してしまう。負担を減らすためにも、今後、協力病院を増やす努力をしていきたい。

2 議 事

(1) 支援場所の選定・把握について

- ・モデル事業に対し、協議会委員や事務局に市民から問い合わせが寄せられている。
- ・今年度は既知の場所から選定し、市民からの直接の問い合わせに対応できなかった。
→来年度に向けて、モデル事業の情報発信および市民からの要望を受け入れられる体制を検討する必要がある。

(2) 地域住民や飼い主への説明と手術のサポートについて

- ・捕獲・運搬等のサポートができるマンパワーが不足している。捕獲できる人材を育成する必要がある。
→ボランティアの育成など、動物関係団体の負担軽減につながる方法を必要に応じて検討する必要がある。

(3) 不妊去勢手術の実施について

・手術期限や1回あたりの申請頭数については、特段の問題とならなかった。

→来年度も同様に実施する。

・給餌者の自己負担金(手術と耳カット以外の処置費用)の支払い能力の有無等により病院に偏りが生じている。

→処置によっては自己負担金が発生する旨、申請者に事前に説明することを、今後徹底していく。また、37病院の協力を得ているので、一部の病院に依頼が偏らないような配慮をお願いする。

(4) 来年度の事業(案)について【資料2】

→今回の会議も踏まえ、課題をしっかりと整理したうえで、次回の会議で協議することとする。

(5) その他

◆第4回協議会は1月末を予定。